

内田圭一さん講演会

海はごみ箱？

～知られざる大海原の魅力と プカプカ漂うプラスチックのおはなし～

一年に一度、地球のことを考える日「Earth Day（アースデイ）」。
鹿児島でも毎年「アースデイかごしま」を開催しています。
今年のアースデイかごしまのテーマは「マイクロプラスチック」です。
いま、世界中で話題になっているプラスチックごみの問題。
なかでも、海洋汚染は特に深刻、とされていますが、
海はひろくて大きくて、ふだんの生活からは、あまりよく見えません。
そこで、海に詳しい、東京海洋大学の内田圭一さんをお呼びして、
海の様子をお話ししてもらうことにしました。
さあ、内田さんと一緒に、大海原へ出発！どんな景色がみえてくるかな？



内田圭一さん

<内田圭一さん プロフィール>

東京海洋大学 海洋資源環境学部准教授。東京水産大学卒、京都大学大学院情報学研究科博士過程修了。「海岸漂着物処理推進法（2009年7月施行）」に関する取り組みが全国的に進む中、東京海洋大学は2014年から沖合域における海洋ごみの実態調査を開始。内田さんは、元航海士の経験を活かし、海面を漂うペットボトルやレジ袋のような大きな漂流ごみから、「マイクロプラスチック」と呼ばれる目に見えない小さなごみ、さらには海底に沈んでいるごみなど、沖合域を中心に、海洋ごみの実態調査の最前線で活躍中。

日時

4月19日（金）

19:00～20:30（開場18:30）

資料代

500円（学生無料）

申し込み不要

どなたでもご参加頂けます

場所

かごしま環境未来館（鹿児島市城西二丁目1-5）

主催：やさしい村 角屋敷浩太

共催：アースデイかごしま実行委員会

問合せ：TEL 090-2511-4905（スマヤシキ）メールアドレス earthdaykago@yahoo.co.jp



※ 4月21日（日）鹿児島市中央公園で開催の「アースデイかごしま2019」にてマイクロプラスチックに関する展示をします。